

一般質問 3月定例会

福祉部長 家庭裁判所によると利用者数は、令和2年10月1日時点で、後見23人、補佐2人、合計25人。長崎県内の申立てが305件（市町村別データはない）。平戸市内で制度が必要な人数は把握できていない。

④ 感染症や災害による臨時休業時でも学びを保障できるよう環境整備するべく①家庭のネット環境を詳細に調べ直すべき②通信環境整備の道すじを小中学校ICT計画に明記すべき。
教育次長 ①指摘のように①新年度に詳しく調査する。②計画に明記する。
@ 不登校や入院中の児童生徒にも活用すべし。
教育長 非常に有効だと考える。実現に向けたい。

市長 行政判断は4年に1回の選挙において、市民の審判を受けるもの失敗したから給与を削減せよというならば、成功したときに給与を上げてもうえのかどうか民間的な発想も要る。

行政がいろいろな成功、失敗を繰り返して、本来の業務をしつかりと継続的にやつていくために公務員制度があ

スター対策の、より一層の推進のため
人所者の日常的な健康管理を行う医
師が確保されるなど一定の要件が満
たされば、高齢者と同じタイミングで
(2番目) 接種しても良い、といつ
のが国を考えた。

2番目に接種できるよう医師会お
よび医療機関と協議を進めていく。

3月定例会 一般質問

◎ 総務部長 各部署に検温器を配置し、体調変調時のチェック体制を強化する。
◎ 徹底した感染対策の下、業務に励む方が多くいる。議会も行政も終息する日まで、緩むことなく対策の意識を持つべきと考えるが、検温の義務による一々解説しない。

市民生活部長　@ 平戸経済浮揚が期待されるDMについて、豊原が口にした。今後、現状の情勢管理や発信の危機管理が全く出来ていない。相談があった時点で、対策はとれたはずである。

◎ 市内の子どもの貧困の実態、特に厳しくなつてゐるひとり親世帯の課題と支援策は。また、認定子ども園の特例措置後の職員配置について伺う

福祉部長 国民生活実態調査の貧困率は、13・5%、約7人に1人の子どもひとり親世帯の半数が貧困世帯である（本市では、13・8%、児童扶養手当の支給対象者が243名）。

検討していくかなければと思つてゐる。
④ 子育てに密接に関わる問題として、夫婦共働き、ひとり親に欠かせない施設である児童放課後クラブの中部地区への早期開設と、中部地区（紐差町）の中心に子育ての若者や高齢者の健康増進、地域住民の憩いの場である公園の設置を早期に実現し、市内の地域間格差の是正が求められ

●平戸市の成年後見制度について ●GIGAスクール構想について

辰の瀬戸(三)

- 行政に対する市長の責任のとり方に
● 新型コロナのワクチン接種について

② クラスター発生時、施設名は非公表となった。その理由を記したチラシを全戸配布したが、「市は、どの施設であるかの情報も持ち合わせていない理由だけでよかつたのではないか。なぜ」の文面を入れたのか。

市民生活部長 県が発表する公式な情報以外持ち合わせていないとの表現であったが、市民に誤解を招いた事はお詫びする。

収益事業が進められる。各関係団体との連携や事業成果を上げるため、人材不足は解消したい。体制が軌道に乗るまで、観光協会に職員を派遣すべし。

文化観光商工部長 観光協会からも職員派遣を要望されている。派遣については、前向きに検討する。

市長 DMOの推進は、第二次総合計画の看板施策。城泊スタートに併せ、観光誘客、人口交流を広げていく。その母体はDMOである。部長答弁は私の意を受けてのことであり、担える人材を派遣できるよう、しっかりと応えていく。

（保育料の軽減や無償化、副食費の免除）、生活支援の「生活困窮者自立相談支援事業、離職等による住宅を失った場合の住宅確保給付金」、就労支援の「ハローワークと連携して就労支援」、経済的な支援の「生活保護や児童扶養手当」などの支給がある。

認定子ども園の職員は保育教諭（幼稚園教諭免許と保育士の両方の資格）が必要で、現在は特例で令和6年度まで、一方の免許で可能であるが公立の生月子ども園では、正規職員だけでは人手不足で臨時職員（一方のみの免許者）の雇用が課題で、6年度までは、資格取得の取り組みと両方の資格を持っている方の雇用等を

事業者等の声がいくつか届けられていて、担当部署において実現が出来るので、担当部署において実現が出来るより、今後も努めていく。

公園整備についても、都市計画課において掌握しているのであり、地域全体、市内全体を見回しながら必要に応じて整備していくことになる。

◎ 核兵器禁止条約の批准の取組みについて、本市の取組みは。

市長 加入している日本非核宣言自治体協議会において「条約批准を目指す」ことを決議。平和首長会議で総理大臣に、「一刻も早く核兵器禁止条約の締結国になるよう要請文を提出してほしい。

二二二
一書院



●子どもを取り巻く現状と課題は
●「核兵器禁止条約」批准への取組みは



卷之二

A portrait of a middle-aged man with dark hair, wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a dark tie. A small green feathered boutonniere is visible on his left lapel.